

10月 園だより

<教育目標> ・元気に遊ぶ子ども
・豊かに感じる子ども
・考え工夫する子ども

R4. 9. 30 文京区立本駒込幼稚園



「思い巡らす」という経験



副園長 山下 美幸

園庭に照り付ける太陽の日差しの中に、風の心地よさを感じる日が多くなりました。季節が確実に移り変わっていることを実感します。見上げると、玄関横のカキの木には、たくさんの実が付き、黄色く色付き始めています。

先日、「敬老の集い」の行事の代替活動として、子どもたちが絵ハガキを作成し、祖父母の方やお世話になっている方にハガキをお送りするという活動を行いました。作った絵ハガキは各学級で子どもたちが自分で郵便ポストに投函するという経験もしました。私は、年中さくら組と一緒に投函に行きましたが、一人一人がハガキをポストに入れる際に「届きますように！」と、相手の方を思い浮かべているかのように、願いを込めてつぶやきながら入れていたのがとても印象的でした。他の学級の子どもたちも同じように、大切にそして思いを込めて投函していたようです。その子どもたちの思いが届いたように、連日、幼稚園宛てにお返事のお手紙が届いています。幼児にも分かるような言葉や文字でお返事を書き込んでいる方、パソコンでご自身の顔写真を入れたおハガキをお送りくださっている方、絵手紙のようにすてきな果物やイラスト、キャラクターを描いてくださっている方など、本当にこちらまで心がほっこり温まるようなお返事が届いています。ありがとうございました。いただいたお手紙は、子どもたちにも、保護者の方にも見ていただけるように掲示させていただいております。この活動を通して、「ハガキはこの郵便ポストからちゃんと届くのかな」「ハガキを送る相手の方は喜んでくれるかな」など様々な思い巡らす経験をする機会となったと感じています。

この「思い巡らす」という行為は、幼稚園教育要領に示された『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）』の中の「自立心」「思考力の芽生え」「自然との関わり・生命尊重」「言葉による伝え合い」「豊かな感性と表現」に明記されており、小学校教育につながる大切な経験の一つとされています。2学期は、様々な行事があり、行事を通して子どもたちは様々な経験をする中で、この「思い巡らす」ことも積み重ねていくことなのでしょう。10月の運動会に向けては、年少ちゅうりっぷ組も年中さくら組もお家の方に見ていただくことを楽しみにしています。「お家の人が見に来るから頑張るんだ!」「お家の人に見られるのはちょっと恥ずかしいなあ」など、様々な当日を楽しみにしながら「思い巡らす」様子が感じられます。年長すみれ組では、チームで競い合う楽しさを感じ、チーム対抗のゲームやリレーに取り組んでいます。チーム対抗で行う中で、勝つための作戦タイムが重要です。自分の思いだけを言うのではなく、自分の思いを出しながらも、同じチームの友達の考えも受け入れて考えていく、友達の考えを聞く中でさらにいい考えをひらめかせ、提案するなど、ここでも様々な「思い巡らす」経験をし

運動会当日は、ぜひ、子どもたちの姿を見ながら、運動会の取り組みの中で経験した「思い巡らす」という姿を想像しながら、保護者の皆様にもご参観いただきたいと思います。地域の皆様には、当日は早朝から音響でご協力いただくこととなりますが、どうぞよろしくお願いいたします。



園に届いたお手紙の掲示



親子で掲示を見る姿
「お返事が届いたね!」